PRESS RELEASE

3331 ARTS CYD

障がいのある人 × ない人 × アーティストによる全国公募展

ポコラート全国公募展 vol.5
開催のお知らせ

“それでも、作りたい。伝えたい。”

「ポコラート全国公募展 vol.5」は、障がいのある人、ない人、アーティストによる自由な表現の場を生み出すべく、2011年よりスタートした全国公募の第5回目です。障がいの有無、年齢、展覧会歴など既存の枠組みにとらわれることなく、人間の表現や創造力と向き合う機会となることを願い開催を重ね、今年も「作品部門」「ワークショップ部門」の2部門にて実施致します。

今年の「作品部門」は、北海道から九州まで725人による1,286作品の応募がありました。審査時には、全応募作品が展示された審査会場を一般公開し、審査員による選出のほか、来場者投票も実施しました。審査員には、障がい者アートの専門家やアーティスト、写真家などを迎え、多角的な視点により選出された121人による203点の作品を一堂に展示します。

障がいのある人、ない人、アーティストが同じ舞台に立ち参加する全国規模の公募展は、本公募展のほかには国内で類がなく、先駆的な取り組みといえます。あらゆる垣根を超えて、表現の核となる部分で交流・交換する場の創出を目指す活動に、今年もご期待ください。

ポコラート全国公募展 vol.5 **http://pocorart.3331.jp**

□会　期：2015 年 6月 26 日（金）〜7月 20 日（月・祝）　12:00ー19:00（最終入場 18:30）
□休場日：毎週火曜日
□会　場：アーツ千代田 3331 1階メインギャラリー
□入場料：500 円　※65 歳以上の方は 300 円、千代田区民と中学生以下および障害者手帳をご提示の方とその付添者 1 名は無料
□主　催：千代田区、アーツ千代田 3331　　□特別協賛：中外製薬株式会社
□協　賛：三菱地所株式会社　　□協　力：集英社 HAPPY PLUS ART（ハピプラアート）

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]
3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331
〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14　TEL: 03-6803-2441　FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp　＜担当：岡田・稲葉＞　URL: http://www.3331.jp

■ポコラート全国公募展 vol.5　作品部門

「作品部門」では、全国より1,286作品の応募があり、厳正な審査を経た203作品を展示。ギャラリー内を埋めつくす作家たちの自由で独創的、さらにエネルギーに満ちあふれた世界がひろがります。

【応募・入選データ】

応募作品数	1,286点	入選作品数	203点
応募者数	725人	入選者数	121人
応募者のうち障がいのある方	85%	入選者のうち障がいのある方	74%

入選者数（年代別）	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
	3	13	40	24	19	7	6	2	2

入選者数（地域別）	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
	6	8	74	4	21	3	4	1	0

【審査員による選評】

“はっとするものがあった。見る人間が教育され、より豊かになる体験である。同じ世界でも別の切り方をすると、良くも悪くも気持ちを動かされる。本当の意味で雄弁。”

木幡和枝／アート・プロデューサー、東京藝術大学名誉教授

”あれこれ悩まずに目が引かれるものを選んだ。ものを写したい気持ちの根っこの部分が出ていると思う。この機会にアートとは何かという根本的な議論をしてみたい。”

畠山直哉／写真家

“5年間続けてきて、作品に変化が見られるようになった。展覧会を開催することが作者にとっても刺激になっている証拠だろう。これからも既にあるアール・ブリュットの概念にとらわれず議論していくことが大事。”

保坂健二朗／東京国立近代美術館主任研究員

“この5年間で作品が集まり、人が集まりそこから関係性が生まれるという核心的な手応えがあった。アートの価値付けはまだ始まったばかり。色んな人が参加できる状況が必要である。作者にとっても、見る人にとってももっと広がりのあるステージを作っていきたい。”

中村政人／アーティスト、東京藝術大学准教授、アーツ千代田 3331 統括ディレクター

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]
3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331
〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14　　TEL: 03-6803-2441　FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp　＜担当：岡田・稲葉＞　URL: http://www.3331.jp

■ポコラート全国公募展 vol.5　作品部門 関連イベント

必聴！アーティストトーク！

6月 27 日（土）14:00-16:00　　**無料／予約不要**

出展中の作品のこと、日々の活動についてなど、制作者自身が会場でお話します。さまざまな制作者の声が聞ける大変貴重な機会です。支援者も交えた意見交換など、参加者同士の交流の場にもなっています。

ポコラート会議 2015 開催！

7月 12日（日）14:00-15:30　　**参加料：300 円／定員 80 名／要予約（7/11申込締切）**

【登壇者】大月ヒロ子、木幡和枝、畠山直哉、
藤浩志、中村政人

作品部門とワークショップ部門の審査員たちが、ポコラート全国公募展vol.5の入選作品やポコラートの今後の可能性について語ります。

特別トーク

7月 12日（日）16:00-17:30　　**参加料：300 円／定員 80 名／要予約（7/11申込締切）**

『芸術のならずもの　亡命の美術館』
ギュスタボ・ジアコザ（俳優、演出家、キュレーター）

同時開催中の展示「Banditi dell'Arte〜芸術のならず者 イタリアと日本の作家たちの対話〜」を監修したジアコザ氏がイタリアのアール・ブリュットと呼ばれる作品について語ります。

ギャラリーツアー

① 7月11日（土）13:00〜14:00
② 7月18日（土）13:00〜14:00、③15:00〜16:00

『みえかたイロイロ！ポコおしゃべりツアー』

参加者同士で対話をしながら会場を巡るツアーです。障害の有無に関わらず、みんなでポコラートについて語り合います。展覧会チケットでご参加いただけます。

★各イベントの詳細・お申込方法は http://pocorart.3331.jp をご覧ください★

■ポコラート全国公募展 vol.4　作品部門 各賞について

入選作品の中から、各審査員が 1 作品を選出する**「審査員特別賞」**、千代田区長による**「千代田区長賞」**、来場者投票による**「オーディエンス賞」**を選出します。各賞の受賞者は、2015年度に開催する受賞者グループ展に参加します。

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]
3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331
〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14　　TEL: 03-6803-2441　　FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp　＜担当 :岡田・稲葉＞　　URL: http://www.3331.jp

■ポコラート全国公募展 vol.5　ワークショップ部門

ポコラート全国公募 vol.3から新しく加わった“ワークショップの公募”です。情熱にあふれたワークショップ企画を募集し、今年は29企画の中から5つのワークショップを会期中に開催します。障がいの有無に関わらずご参加いただけます。

ワークショップ部門　審査員：大月ヒロ子（IDEA, INC. 代表取締役）、藤浩志（美術家、十和田市現代美術館 館長）、中村政人

【実施ワークショップ】

参加料：各 300 円

定員20名

□ ミチココレクションファッション撮影会

6月 28日（日）14:00-16:00
企画者：ミチココレクションセッションズ／原田道子

原田道子さんと一緒に新聞紙やチラシ、色紙などの身近な素材を使い、オリジナルファッションアイテムを作ります。完成した衣装を身に着けて写真撮影も。モデルになった気でファッションショーを楽しみましょう！

各回定員4名（6才以上）

□ 時を編む ワークショップ

7月3日（金）18:00-21:00
7月4日（土）17:00-20:00

企画者：宮田明日鹿

参加者が持参した一枚の写真にまつわる思い出を聞きながら、編み機でニットを編んでいくワークショップ。
他者とニットのフィルターを通して記憶はどのように変容するでしょうか。

定員10名（10才以上）

□ 「聴く演劇」をつくる

7月 4 日（土）13:30-16:30
企画者：大石将弘

演劇の経験を問わず誰でも作れる方法で、参加者一人一人が小さな演劇をつくります。作るのは、用意された舞台も俳優もない「音」だけの「聴く演劇」。あなたが見つけた日常の小さな出来事が、イヤホンを通して誰かの非日常につながるかも？

定員50名

□ ニューポコみこし ーTOGETHERわっしょいー

7月 5日（日）13:30-16:30
企画者：町田有理
特別盛り上げ隊長：遠藤一朗

参加者全員が「TOGETHERわっしょい」できるお神輿を作ります。秋葉原などの3331周辺地域から拾い集められたゴミを素材として使います。「神輿を作って、担ぐ」という共同作業から地域コミュニティを一緒に考えてみましょう。

定員16名（10才以上）

□ ゾンビママの Be zombie! Workshop

7月 20日（月・祝）13:30-16:30
企画者：ゾンビママ／Dr.ロナロ

みんなでゾンビになるワークショップです！応募した時点であなたはもう感染者。特殊メイクや動きでゾンビママと一緒に3331周辺を徘徊します。堂々とした生ける屍の姿を見せつけましょう！

★ワークショップの詳細・お申込方法は、http://pocorart.3331.jp まで！★

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]
3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331
〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14　TEL: 03-6803-2441　FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp　＜担当：岡田・稲葉＞　URL: http://www.3331.jp

PRESS RELEASE

3331 ARTS CYD

イタリアのアール・ブリュット作家3人日本初上陸!!

Banditi dell'Arte

～芸術のならず者　イタリアと日本の作家たちの対話～

開催のお知らせ

今日、「アール・ブリュット」「アウトサイダーアート」など、独学で自らの感性の赴くままに表現した絵画や立体作品などをさす言葉をよく耳にします。いったいどのような作品なのでしょうか。

本展では、近年ヨーロッパでイタリアのアール・ブリュットの作品を紹介しているギュスタボ・ジアコザ氏（俳優、演出家）をキュレーターとして招き、イタリアと日本の作家各3人の作品を展示します。イタリアの作家たちの作品は、日本初上陸となります。日本の作家たちの作品は、過去の「ポコラート全国公募」の入選作品からの出展です。

展覧会タイトルには、日伊両国の作品の対話を聞きながら、「アート」と「その周縁」というカテゴリーを見直すことができればというジアコザ氏の願いも込められており、会期中はジアコザ氏による作品解説を交えたギャラリートークやワークショップなどイベントも実施致します。ジアコザ氏が演出するまたとない新しい表現の数々の共演をぜひご覧下さい。

＊この事業は、平成27年度千代田区アーティスト・イン・レジデンス委託事業です。

Banditi dell'Arte ～芸術のならず者　イタリアと日本の作家たちの対話～

□会　期：2015 年 6月 26 日（金）～7月 20 日（月・祝）　12:00－19:00（最終入場 18:30）
□休場日：毎週火曜日
□会　場：アーツ千代田 3331 1階 3331 GALLERY
□入場料：無料
□主　催：千代田区　　□後　援：イタリア大使館
□企画・運営：アーツ千代田 3331　　**http://3331.jp**

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]
3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331
〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14　　TEL: 03-6803-2441　FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp　＜担当：岡田・稲葉＞　URL: http://www.3331.jp

■出展作家（イタリア人作家3名、日本人作家3名）

Melina Riccio (メリナ・リッチオ)

1951年生。ジェノバ在住。3人の子育てをする傍ら、オートクチュールの縫製の仕事をしていた。利益優先のクライアントに「利害にしか興味のない腐った世の中」と失望。この体験と仕事、子育ての疲れから神経衰弱で入院。2005年から平和と博愛のメッセージをグラフィティ、刺繍や詩に表現する。

Manuela Sagona(マヌエラ・サゴナ)

1977年生。トスカーナ州リヴォルノ在住。1999年以来、リヴォルノにあるフランコ・バザリア医療センター内の造形活動のアトリエ「ブルー・カメーロ」に通う。具象表現で才能を発揮。グラフィカルな作品は、モデルの極度の様式化、装飾的な感覚、独特な文字が特徴的。

Franco Bellucci (フランコ・ベルッチ)

1945年生。トスカーナ州リヴォルノ在住。17歳から深刻な脳損傷を患い、ボルテッラ精神病院に入院。1999年以来、リヴォルノにあるフランコ・バザリア医療センターの一室で暮らす。ペットボトル、靴下、ルームメイトの靴ひもなど、いろんな場所で拾い集めた物を使って自分独自のおもちゃを作る。

玉浦航太（たまうら こうた）

1990年生。千葉県成田市在住。2010年に情緒不安定、大混乱の状態で工房のメンバーに加わる。絵を描くことが好きで、1人で画用紙に向かってはき出すようにボールペンを走らせる。彼が必要としている文字や気に入っている文字、その日に見て興味を示した文字など日常の文字から作品が生まれてくる。色鉛筆やポスカを好んで使用し、作品の数は1,000枚以上に。

高橋舞（たかはし まい）

1991年静岡県浜松生まれ。2010年から障害福祉サービス施設 アルス・ノヴァの造形アトリエに通う。トイレットペーパーの芯に白い紙のテープを貼る様子を見た施設職員が、カラフルな色のテープを高橋に渡した。2011年の夏頃から、身の回りにあるものや元骨董屋さんの職員が持って来てくれるオブジェやダルマを色とりどりのテープで覆い尽くす。

カズ・スズキ

1963年栃木県生。知的障がいがあり、簡単な動作でも真似る事が苦手。何か出来る事はないかと模索していた母が、約25年前にさをり織りに出会い、手織り教室を開く。期待に反して全く織り機に触れず、あきらめかけた頃、突然織り機に向かい猛然と織り始める。足を交互に踏み替えるという織りの基本動作が出来ず、一見して織りとは解らない立体的な物体が出来あがった。

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]
3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331
〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14　TEL: 03-6803-2441　FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp　＜担当：岡田・稲葉＞　URL: http://www.3331.jp

■Gustavo Giacosa （ギュスタボ・ジアコザ）プロフィール

俳優／演出家／展覧会キュレーター
文学や演劇を学んだ後、アルゼンチンからイタリアへ。イタリアの劇団「ピッポ・デルボノ」に参加し、国際的な劇場やフェスティバル（ヴェネツィア・ビエンナーレ、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー等）で演劇や映画の制作に参加。

2005年ジェノヴァで、ContemporArt文化協会を設立し、視聴覚芸術における「芸術」と「狂気」の関係を研究テーマとして活動する。同テーマで数多くの展覧会を国内外で手がけ、2010年よりジェノヴァのヴィラ・ピアジオ内にある文化施設ContemporArt Ospitale D'Arteの芸術監督を務める。

美術館の学芸員ではない表現者でありながら、キュレーターとしてアール・ブリュット作品の調査、研究、展示を国際的に行い、スイス・ローザンヌの「アール・ブリュットコレクション」で現在開催中の「エリック・デルケンヌとアンドレ・タッシーニ展」をキュレーションしている。

■関連イベント

□ギャラリートーク

6月 26 日（金）15:00-16:00　　無料／予約不要

会場で、本展監修者のジアコザ氏が展示作品の制作背景や作家についてお話しします。

□ワークショップ『胸の内にある言葉を使って表現しよう！』

7月 11日（土）13:30-16:30　　参加料：300 円／定員 15名／要予約（7/9申込締切）

秘密、宣言、抗議、誓いなんでもOK！メッセージを壁や洋服などいろいろなメディアで伝えよう！
イタリアのアール・ブリュットの作家の一例に習い、壁を表現媒体として使用し、絵や文字などのメッセージを描く体験をします。

□トークイベント『芸術のならず者-亡命の美術館』

7月 12日（日）16:00-17:30　　参加料：300 円／定員 80名／要予約（7/11申込締切）

ジアコザ氏がイタリアのアールブリュットの作品について、その歴史や作家について語ります。

【イベントお申込方法】申込締切までに①お名前 ②年齢 ③ご連絡先（携帯電話など）④障がいの有無と介助状態（介助者同伴など）⑤その他、当日配慮することや必要な介助などを電話またはEメールにてお知らせください。

アーツ千代田 3331
電話：03-6803-2441／メール：ws1@3331.jp

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]
3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331
〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14　　TEL: 03-6803-2441　　FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp　＜担当 :岡田・稲葉＞　　URL: http://www.3331.jp